

匝瑳市教育委員会平成24年10月定例会会議録

匝瑳市議会棟第3委員会室

1 期 日 10月18日(木) 開会 午後3時50分 閉会 午後4時50分

2 出席委員 委員長 川内 恵美子
委員 平山 延樹 委員 竹澤 実
教育長 池田 竹四

3 出席職員 学校教育課長 吉川 昇 生涯学習課長 佐藤 和
公民館長 今井 嘉則 図書館長 横町 昌之
給食室長 岩澤 薫

4 委員長挨拶

みなさん、こんにちは。10月の定例教育委員会を始めます。10月の最大のニュースは、山中教授のノーベル賞の受賞でした。ご存じのように、高校時代に柔道でよく怪我をしたので整形外科医を目指しました。でも、手術室では「ジャマナカ」と馬鹿にされ臨床医を諦めました。その後、研究者への転身を考え、いろいろな壁にぶち当たりながら、「万能細胞」作りの山を登り始め「IPS細胞」の発見に成功したそうです。挫折と再起を繰り返し、廻り道をしたからこそ勝ち取ったノーベル賞だと思います。私の大学時代の恩師も、当初は小学校の教員でしたが、字がとても下手で教員を断念し、数学を学び、理学部の学部長を務めました。二人とも遠廻りしたことで、誰からも愛され、慕われ、尊敬されたのだと思います。人生において挫折や廻り道を経験することの大切さ、不得手なことに執着せずに、じっくり得意分野を探して新しい道に進む大切さも教えてくれました。山中語録は感銘することばの宝庫です。田中真紀子大臣が洗濯機を贈る案を考えているそうです。ところで、数学の分野にノーベル賞はありますか、残念ながらありません。ひとつの説にノーベルが女性数学者にふられたからとか、また、他の説では恋仇が数学者だったとか言われています。数学にはノーベル賞に相当するものとして、フィールズ賞、アーベル賞、ガロア賞などがあります。本日は報告事項だけになりますが、よろしくお願いいたします、

5 前回会議録の承認(前、9月定例会分)

川内 恵美子 委員長
平山 延樹 委員

6 議事録署名人選出(本、10月定例会分)

川内 恵美子 委員長

竹澤 実 委員

7 現況報告及び当面の方針

資料に基づき、各課館室長が9月1日から9月30日までの現況報告及び当面の方針について説明があった。

竹澤委員 学校教育課の資料で、生徒指導等の具体的な内容を記載して頂いて学校現場の状況が良く分かった。議会関連の報告で、スポーツ振興、安全対策、就学援助、防災、いずれも匝瑳市としての教育が進展していることが感じられた。その中で、交通安全対策の対策未定となっている箇所が28箇所となっているが、優先順位を付けて実施中のため、残りの箇所となるのか。

学校教育課長 対策未定は県道、国道であり、市ですぐに関われない箇所である。市では環境生活課等を通じて要望を出す形になるが、具体的には、横断歩道、信号機などの設置要望であり、簡単にはいかず時間もかかると思うが、警察を含めてきちんと対応していく方向を国が出している。

総務班統括 28箇所には横断歩道と歩道の設置も含まれる。歩道については新たな用地確保が必要となること、横断歩道は地域の利用状況、信号機の必要性、交通への影響など十分な検討が必要であり、安易には設置出来ないため、現在のところは対策未定とされている。

平山委員 総点検箇所59箇所は各地区からの要望なのか。

総務班統括 事前に匝瑳警察、土木事務所、市の建設課、環境生活課、学校教育課の担当者会議で、点検箇所の抽出方法について協議をした。その結果、小学校から危険箇所を報告して頂き、その中から点検箇所を抽出することとなった。結果的には小学校から報告があった59箇所すべてを点検することになった。

平山委員 警察とすれば市民の安全を守るために出来ることとして、スピード違反の取り締まりなど事故につながることはないように、市民の安全を考えて取り組むことになる。学校だと安全指導を徹底するなど立場でいろいろな対策があると思う。しかし、これは学校の指導ばかりではなく地域ぐるみで取り組むことなので、家庭にも周知して、普段から子どもへの注意を促すような習慣が必要である。私も先日椿海地区で、中学生が自転車で飛び出してもう少しで事故になるという場面があった。たとえば、事故の起きやすそうな所に気をつけるなど保護者も対象にして注意

をさせる、安全に対する注意を習慣づけることが大事ではないか。私自身も危ない思いをすると、改めて、子どもが飛び出して来ないか、お年寄りがいないか予期して安全を図るようになる。万が一のため、自分が被害者、加害者になるのが嫌だからそういうことを予期しながら運転するようになる。子どもたちにも、それらの事も含めて、実際に事故になるとこうなるという事について指導して頂きたい。

学校教育課長 来週、校長会がある。事故の発生しやすい箇所は各校で分かっているので、保護者会、学年会を通じて保護者へも周知するよう、特に飛び出しなどの防止についても取り組んで頂くようお願いしていきたい。

平山委員 生徒指導の報告にあった中学生の事件に関連してだが、中学生による事件はニュースなど見ると珍しくも無くなっているが、私たちの年齢からすると異常であり低年齢化していると考え。駅構内に青色蛍光灯が設置されているが切れかかっている。犯罪防止のためと聞いているが、市の方からも施設の改善をお願いしてほしい。それと階段の上に学生がたむろして平気でゴミを散らかしている。住みやすい環境を守るためにも取り締まりは無理かもしれないが対策が出来ないか。大人でもマナーを守れない人もたくさんいるわけだが、子どもたちも飯高檀林コンサートの後にゴミ拾いをしたとか、JT跡地のイベントの後にもゴミ拾いをしたとか良い事もされている。将来の街の事を考えての教育もされている。その中で一部の子どもたちが駅前にゴミ箱があるのにそういう事をしている。もう少しモラルの指導をされるべきではないかと思う。きれいな環境のなかにゴミが散らかっていると周りに住んでいる住民はすごく気持ちが悪い。そういう部分をもう少し徹底して頂けないか考える。

竹澤委員 就学援助費だが年度を追うごとに増えている。本年度は7月末で約4百万円、年間にするとその3倍の1200万円になる。今の経済状況を反映していると思うが、経済力のない家庭にとっては非常にありがたい制度となっている。生活保護の問題が新聞に出ている、教育委員会で適正な検査をしていると考えるがどのようなになっているのか。

学校教育課長 ひとつの例として、援助を受けている家庭が家を建てたことを知り面接をして就学援助に該当しないことを納得して頂いて、援助を取りやめたという事例もある。就学援助は状況的には良くなっておらず、現在、要保護7名、準要保護110名となっており、生活に困っている家庭が年々増えてきている。給食費が引き落とせなかったり、集金が滞ったりということがひとつの現われとなるので必ず学校で関わって頂き、制度の紹介をして頂くようお願いしている。家庭にとって

はプラスとマイナスの両面があるが、学校教育課では必ず面接をさせてもらい就学援助制度の活用を図っているところである。

(その他質問等はなかった。)

9 その他

○学校教育課長から、11月定例教育委員会の日程について11月20日(火)が提案され決定された。

○学校教育課長から、12月定例教育委員会の日程について第1案12月19日(水)と第2案12月18日(火)が提案され、第1案に決定された。